

# Panasonic®

## 取扱説明書

### 充電 ドリルドライバー<プロ用>

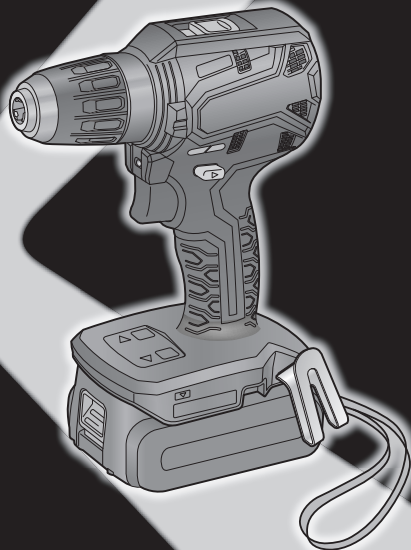
品番

**EZ1DD1J18D**

EZ1DD1N18D

EZ1DD1J14D

EZ1DD1X



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保管用

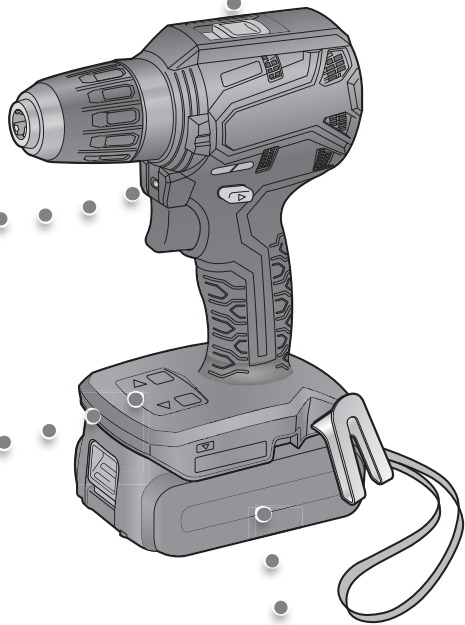
保証書別添付

作業範囲が広い  
**ネジ締めモード**  
P21

スピードが選べる  
**高速/低速  
切替**  
P19

作業範囲  
/ 作業量  
P33/34

作業場所を照らす  
**LEDライト**  
P27



タップ立て作業が  
楽にできる  
**タップモード**  
P24

本体や電池パックの  
状態がわかる  
**お知らせ表示**  
P17

困ったとき  
故障かな？  
P37

回転数設定ができる  
**穴あけモード**  
P20

**リチウム  
イオン電池**  
P32

必要に応じて  
**別売品**  
P13

## もくじ

安全上のご注意.....	4
ほこり・水についてのご注意 .....	10
各部のなまえとはたらき .....	11

充電する .....	14
準備.....	16
作業.....	26
補助ハンドルの取り付けかた .....	28
作業終了.....	29
使いこなし .....	30

お手入れ.....	31
保管.....	31

電池パックについて.....	32
能力.....	33
仕様.....	35

エラー表示について.....	36
故障かな？と思ったとき .....	37
商品登録について.....	40
保証とアフターサービス.....	41

ご使用前に

使いかた

お手入れ・保管




お知らせ

点検方法



# 安全上のご注意 **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>危険</b>	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

## 危険



禁止

当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いはしないでください。

- 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるようにしない。
  - 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。
  - 当社充電工具および当社が認めた充電工具以外に使用しない。
  - 分解、修理、改造をしない。
  - 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
  - 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。
  - 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
  - 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
  - 劣化した電池パックは使用しない。
  - 水などの導電体で濡れるような使用はしない。
  - 腐食性のガスのある場所で使用しない。
- 発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。  
濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 電池パックは専用充電器以外では充電しない。  
電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



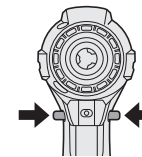
必ず守る

- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。  
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



## 警告

- 作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。
- ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。  
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。



- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
  - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
  - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
  - ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。  
けがのおそれがあります。

- 作業個所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。  
埋設物に触れると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。



必ず守る

- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。  
守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

- 作業時は保護メガネを使用する。  
また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。  
守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。  
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。  
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。  
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。  
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。  
お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。

- 指定の付属品やアタッチメントを使用する。  
守らないとけがをするおそれがあります。

- 作業する場所は十分に明るくする。  
暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。

 **警告**



必ず守る

- 加工するものはしっかり固定する。  
不意に動き、けがをすることがあります。  
安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。  
本体が落下してけがをすることがあります。
- 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。
- 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっていないか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。  
そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- 引掛フックは本体に止めネジでしっかり固定する。  
守らないと本体落下による事故のおそれがあります。
- 電池パックは黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。  
守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。
- ビットなど先端工具類や付属品は取扱説明書にしたがい確実に取り付ける。  
確実に取り付けないと、はずれてけがをすることがあります。
- 調節に用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。  
守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。
- 細径ドリルは折れやすいので注意する。  
飛散して、けがのおそれがあります。
- 髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。  
守らないと回転部に巻き込まれ、けがをすることがあります。  
長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
- 刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。  
破損した刃物類で作業すると、けがのおそれがあります。
- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない)  
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。



禁止

 **警告**









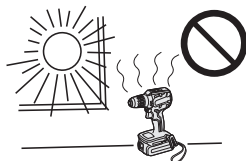

禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。  
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- コアドリルを使用する際は、ロックするような無理な押しつけをしない。  
不意な反動で本体が急に回ってしまい、けがのおそれがあります。
- 換気のない場所で充電しない。
- 使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。
- 可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。  
発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。  
身体に害を及ぼすおそれがあります。
- 本体または充電器の風穴をふさがない。  
やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
- 本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。
- 作業直後はビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。  
高温になっており、やけどをすることがあります。
- 可燃性の液体・ガス・粉じんの多いところで使用しない。  
充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しない。  
健康に悪い影響を与えるおそれがあります。  
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質ですので、十分注意してください。
- 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させない。  
理解せずに使用することは危険です。
- 指定された用途以外に使用しない。  
けがをすることがあります。
- 引掛フック使用時は、先のとがった先端工具などを取り付けない。  
けがの原因になります。
- 引掛フック使用中は、体を激しく動かさない。  
本体落下による事故のおそれがあります。
- LEDライトを懐中電灯として使用しない。  
十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。



 <b>警告</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LEDライトの光を直接目に当てない。 LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。</li> <li>● 使用中は巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。 回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。</li> <li>● 使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。 不意にはずれたり破損したりしたビットや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社で相談窓口にご相談ください。</li> </ul>
	<p>充電工具は、下記のような取り扱いはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雨ざらしや湿った場所で使用や放置をしない。</li> <li>● 水に浸かるような使用をしない。 発煙、発火、破裂のおそれがあります。</li> </ul>
 分解禁止	
 水ぬれ禁止	
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。</li> </ul>
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</li> </ul>

 <b>注意</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。</li> </ul> <div style="text-align: right;">   </div>

 <b>注意</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体を、50℃以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。</li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モータがロックするような無理な使いかたはしない。 発煙、発火のおそれがあります。 安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。</li> <li>● 無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。</li> <li>● 疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。</li> <li>● 子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。 けがのおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。 守らないとやけどをするおそれがあります。 複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。</li> <li>● 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。</li> <li>● 使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。 守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業する場所はきれいに保つ。 散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。</li> <li>● 取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</li> <li>● 屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。 守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。 使用前にコードの破損が無いか点検してから使用してください。</li> <li>● 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。 守らないと滑ってけがの原因になります。</li> </ul>
 必ず守る	

# ほこり・水についてのご注意

- 本製品はほこりや水に対する影響が小さく抑えられるように設計されていますが、ほこりや水によって故障しないことを保証しておりません。取り扱いに注意してください。過度なほこりがあるところ、水中、雨にさらされる場所では使用しないでください。
- 通常の使用において発生する製品または材料の欠陥に起因する故障のみ保証対象となります。改造、事故、誤用、本体内への液体・異物混入、乱用、設置における無視、不適切な調整、不適切なメンテナンス・補修、取扱説明書に準じない使用は、保証対象外です。  
(保証対象・期間につきましては、保証書をご確認ください。)
- 工具本体に電池パックを装着した状態で、国際規格(IEC60529)に規定されたIP56の保護等級に要求される試験を認証機関Intertekで実施し合格しております。

## <IP保護等級の例>

IP5X	じんあいの侵入を完全に防止することはできないが、電気機器の所定の動作及び安全性を阻害する量のじんあいの侵入がないように配慮しています。 (直径75 μm未満のタルク粉が工具内部に侵入する条件)
IPX6	あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けないように配慮しています。 (内径12.5 mmの注水ノズルを使用して、約3 mの距離から約100 L/分の常温の水道水を約3分間注水する条件)

# 各部のなまえとはたらき

## 本体

回転数切替ハンドル

P19参照

補助ハンドル装着スペース

P28参照

キイレスチャック

P19参照

LEDライト

P27参照

スイッチ

P26参照

予備ビット収納部

P30参照

## 操作パネル

表示部

P17参照

モードボタン

P20参照

状態表示  
ランプ  
P17参照

風穴

正逆切替スイッチ  
P19参照

引掛フック  
P30参照

吊りひも

位置合わせマーク  
(電池パック用)

トルク・回転数設定ボタン  
P20参照

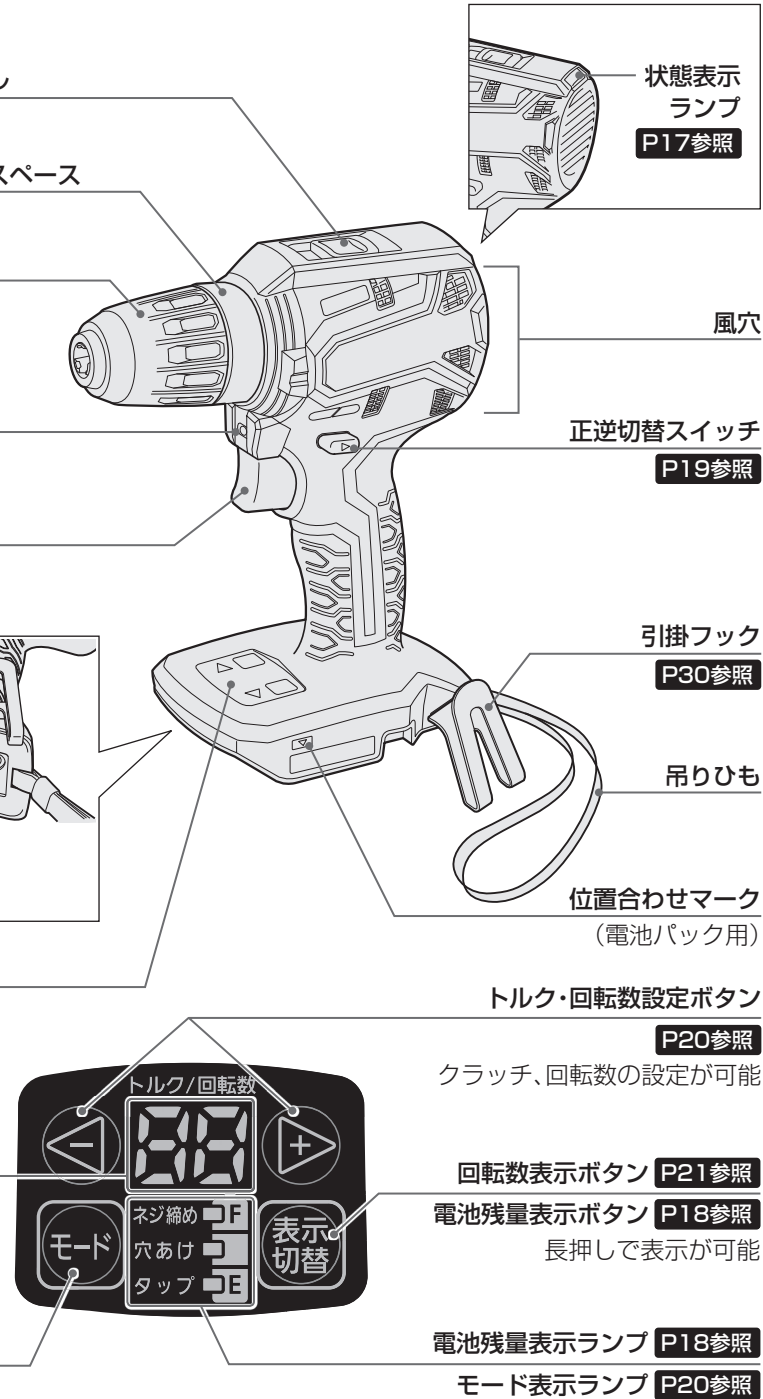
クラッチ、回転数の設定が可能

回転数表示ボタン P21参照

電池残量表示ボタン P18参照  
長押しで表示が可能

電池残量表示ランプ P18参照

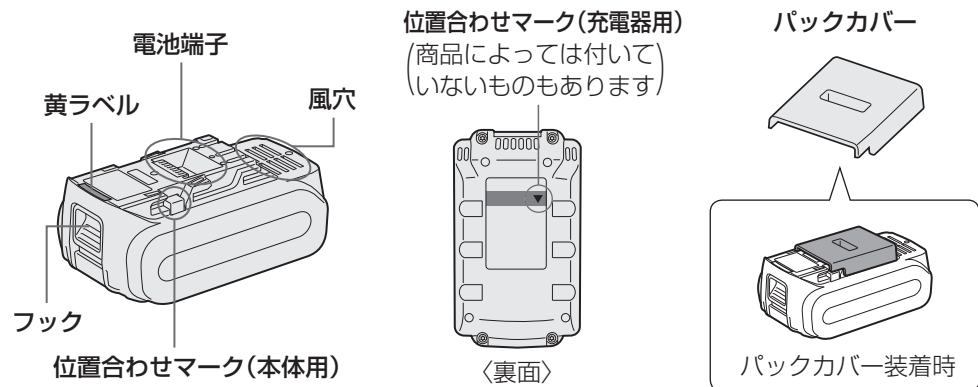
モード表示ランプ P20参照



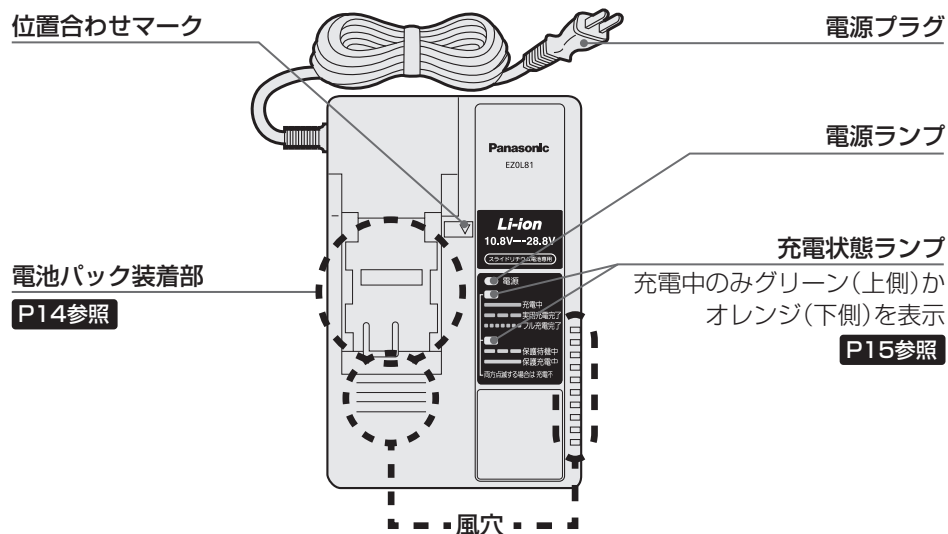
## 各部のなまえとはたらき(つづき)

ご使用前に

### 電池パック (EZ1DD1Xには付属していません)



### 充電器 (EZ1DD1Xには付属していません) P14参照



### 付属品・別売品

商品	付属品				別売品の有無
	EZ1DD1 J18D	EZ1DD1 N18D	EZ1DD1 J14D	EZ1DD1 X	
充電器 	○	○	○	—	○ EZ0L81
電池パック (リチウムイオン電池) 	EZ9L54 ○ (2個入)	EZ9L53 ○ (2個入)	EZ9L48 ○ (2個入)	—	○ EZ9L54(18 V) EZ9L53(18 V) EZ9L51(18 V) EZ9L48(14.4 V) EZ9L47(14.4 V) EZ9L46(14.4 V) EZ9L45(14.4 V)
パックカバー 	○ (2個入)	○ (2個入)	○ (2個入)	—	○ EZ9L80R2788 (※)
ケース 	○	○	○	—	○ EZ9K03
両頭プラスビット#2 ⊕65 mm 	—	—	—	—	○ EZ9BP221 (2本組)
カラビナ対応フック 	—	—	—	—	○ EZ9X015
補助ハンドル 	—	—	—	—	○ EZ1DD1F7001 (※)

※補修用部品としてお問い合わせできます。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



ご使用前に

# 充電する

スライド式リチウムイオン電池パックの充電ができます。

## 充電の前に

充電器は0℃～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。

電池パックの温度が0℃以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

## お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。 **P41参照**

## お知らせ

- 電池パックの温度が-10℃～0℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は **P15参照**
- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も電源ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

## 充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

### 1 コンセントに電源プラグを差し込む

電源ランプ▶点灯

### 2 電池パックを充電器に装着する

- ① 位置合わせマークを合わせて差し込む
- ② 底に当たったら矢印の方向に引く

充電状態ランプ▶充電状態を表示

**P15参照**

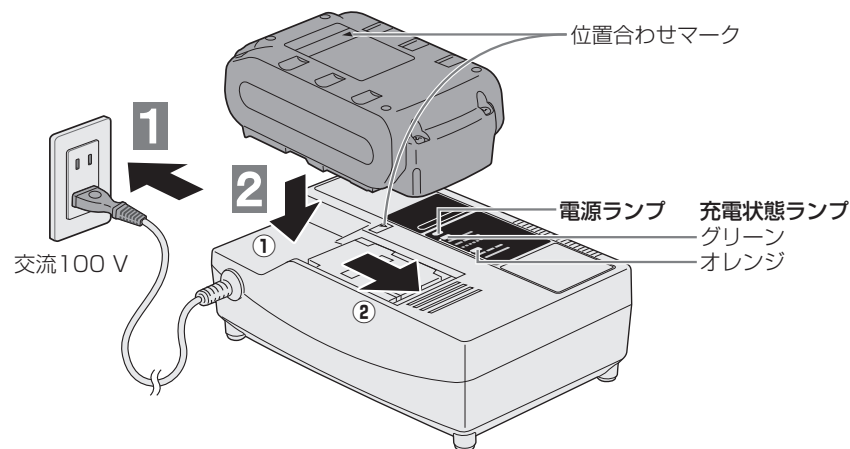
## 実用充電とフル充電について

**実用充電:**フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。

**フル充電:**実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

- 充電時間は **P35参照**

### 3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く



## 充電状態ランプの見かた

——— 点灯    - - - - 遅い点滅    ●●●●●● 速い点滅    ——— 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
———	———	充電中
- - - -	———	実用充電完了
●●●●●●	———	フル充電完了
———	- - - -	保護待機中* 電池パックの温度が高いとき(60℃以上)、または低いとき(-10℃以下) ▶ 電池パック保護のため、充電は行ないません。 ▶ 温度が高いとき：電池パックを冷却後、充電します。 ▶ 温度が低いとき：電池パックの温度が上がった後に、充電します。 (充電器が0℃～40℃の場所に設置されていることを確認してください)
———	———	保護充電中* 電池パックの温度が低いとき(-10℃～0℃) ▶ 電流を下げて電池パックにやさしく充電します。 (0℃以下の電池パックを充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)
●●●●●●	●●●●●●	充電不可 電池パックの故障 ▶ 別の電池パックに交換してください。

※電池パックの温度が-10℃～0℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。



## 準備中・作業後のご注意

### 警告

- 作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。
- ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。  
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

作業中に、正逆切替スイッチや回転数切替ハンドルの操作をされる場合はモータが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

使いかた

## 作業中のご注意




### 警告

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。  
けがのおそれがあります。
- コアドリルを使用する際は、ロックするような無理な押しつけをしない。  
不意な反動で本体が急に回ってしまい、けがのおそれがあります。
- 使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。  
不意にはずれたり破損したりしたビットや切りくずが当たって、けがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。
- 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。  
本体が落下してけがをするおそれがあります。
- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないように使用する。  
熱風によるやけどのおそれがあります。

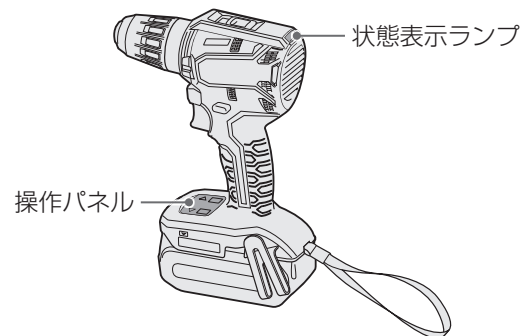
- 本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。故障の原因になります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤動作をおこす可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。
- 本体や電池パックでモノを叩くような使いかたは、しないでください。  
(故障の原因になります)

## 各種保護機能について

本製品を長く使っていただくため、以下のような保護機能を搭載しております。

操作パネル表示部のエラー表示		状態	考えられる原因	処置	
高温お知らせ		E2点灯	電池高温保護機能が働いている。	電池パックが高温になっている。  作業を中断し、約30分以上放熱させE2、E3表示が消灯してから使用してください。	
		E3点灯	モータ高温保護機能が働いている。		モータが高温になっている。
接触不良お知らせ		E4点灯	本体と電池パック接触不良検知機能が働いている。	本体と電池パックの接触状態が悪い。	電池パックと本体の取り付け状態の確認や電池パックと本体の接点部のゴミなどの付着物があれば取り除き、電池パックを確実に本体に取り付けてください。
過電流お知らせ		E5点灯	過電流保護機能が働いている。	本体に過電流が流れた。	作業を中断し、本製品を押し付ける力を弱くするか回転数切替ハンドルで低速側に切り替えるなどしてください。
電圧低下お知らせ		点滅	過放電防止機能が働いている。	電池残量がありません。	すぐに電池パックを充電してください。

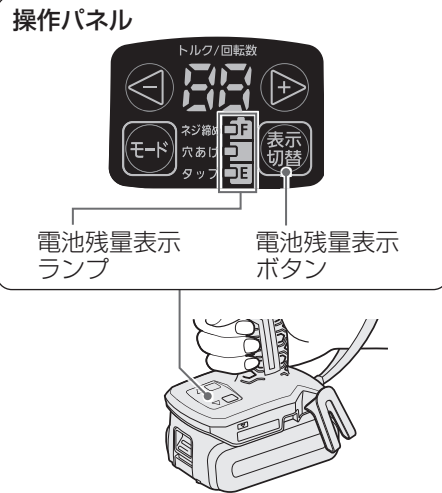
- 高温お知らせ、接触不良お知らせ、過電流お知らせの場合、本体の状態表示ランプでも状態をお知らせします。



状態表示ランプ	ランプの表示
高温お知らせ 接触不良お知らせ 過電流お知らせ	赤点滅

使いかた

電池残量表示機能について



電池残量表示ボタン を押している間、電池残量を3段階で表示します。

次の場合は、電池残量表示ボタンを押しても、ランプが表示されません。

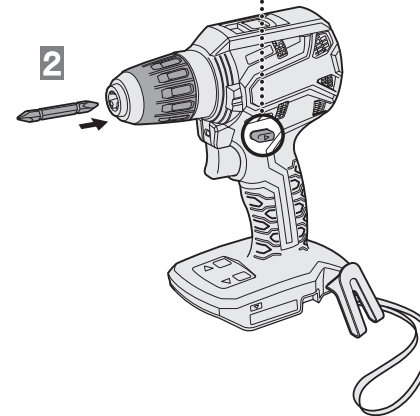
- 本体の電源がOFFになっている。
  - ・電池パック装着直後。
  - ・約5分間スイッチや電池残量表示ボタンを操作しなかったとき。
- ➡ 一度スイッチを引いた後、再度、電池残量表示ボタンを押してください。
- 電池パックが高温になっている。
  - ➡ 作業を中断し、電池パックの温度が下がってから操作してください。

電池残量表示	残量の目安
	3本点灯 充分残量があります。
	2本点灯 約半分程度残量があります。
	1本点灯 残量が少なくなっています。早めに充電してください。
	3本点滅 全く残量がありません。すぐに充電してください。

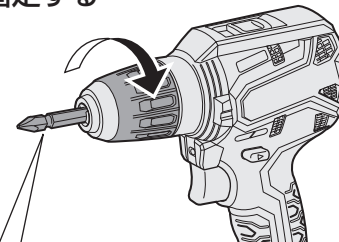
- 電池残量表示は目安です。電池パックの状態や周囲温度などにより、表示内容が変化することがあります。

作業前の準備

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



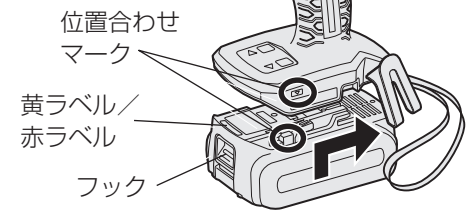
2 先端工具を取り付ける  
キレスチャックをカチカチと音がしなくなるまでしっかり締め付けて、先端工具を本体と固定する



軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

- チャックの締め付け力が弱いと作業中にチャックがゆるみ先端工具がはずれ、けがのおそれがあります。

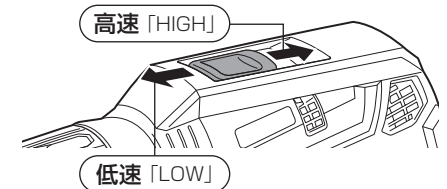
3 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける



- 黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。

4 回転数切替ハンドルで高速/低速を選ぶ

回転数	用途	スイッチ位置
高速「HIGH」	力より回転数が必要とする作業	↓
低速「LOW」	大きな力が必要とする作業	↑



■ 低速「LOW」の選定目安

木工穴あけ	径φ22 mm以上の 木工ドリル(深さ~120 mm)
金工穴あけ	径φ22 mm以上の ホールソー(厚さ~2.3 mm)

- 大きな力が必要な作業の場合は「LOW」に合わせてご使用ください。「HIGH」で使用すると、モータが焼損する原因になります。
- 目安は相手部材の硬さ・ドリルの状態によって変わります。

作業前の準備(穴あけ時に穴あけモード機能を使う)

- 上限の回転数を設定できます。
- 低速回転が必要なステンレス材への穴あけやタップドリルでの穴あけに有効です。

1 **モード** を押して、穴あけモードを選択する

押すごとに



の順に切り替わります。

(モード表示ランプが点灯)

- お買い上げ時の設定:「穴あけ」

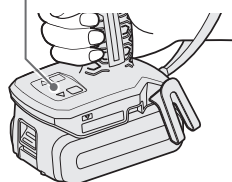
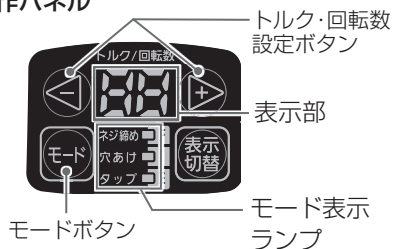
2 **表示切替** を押して、回転数を設定する

押すごとに下記の順に切り替わります。

ボタン	表示部
<b>表示切替</b>	<b>F</b> → <b>H1</b> → <b>H2</b> → <b>H3</b>
<b>表示切替</b>	<b>F</b> → <b>H3</b> → <b>H2</b> → <b>H1</b>

- お買い上げ時の設定:「F」

操作パネル



■ 上限の回転数の作業目安

表示部	回転数	
	高速「HIGH」	低速「LOW」
H3	約1000回転/分 繊細なネジ締め作業に (当社7.2Vクラス) の低い回転数で 扱いやすい	約300回転/分 例)金工ホールソー* 普通鋼: φ15~φ25 SUS: φ10~φ15
H2	約670回転/分 繊細なネジ締め作業に (当社3.6Vクラス) の低い回転数で 扱いやすい	約200回転/分 例)金工ホールソー* 普通鋼: φ25~ SUS: φ15~φ25
H1	約500回転/分 より繊細な ネジ締め作業に (さらに低い 回転数で扱い やすい)	約150回転/分 例)金工ホールソー* 普通鋼: φ30~ SUS: φ20~ 例)タップドリル
F	通常の回転数 18V時: 約1800回転/分 14.4V時: 約1450回転/分	通常の回転数 18V時: 約530回転/分 14.4V時: 約430回転/分

※金工ホールソーには、口径と相手材の材質に合った「適正回転数」が決められています。詳しくは金工ホールソー各メーカーの取扱説明書などでお確かめください。

- 回転数設定機能を使用中は、18Vも14.4Vも同じ回転数になります。

作業前の準備(ネジ締め時にネジ締めモード機能を使う)

作業に応じて、高速20段階、低速40段階でクラッチトルクを調整できます。段階は表示部に表示されます。

1 **モード** を押して、ネジ締めモードを選択する

押すごとに



の順に切り替わります。

(モード表示ランプが点灯)

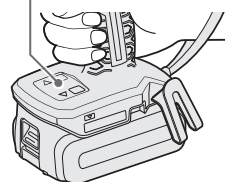
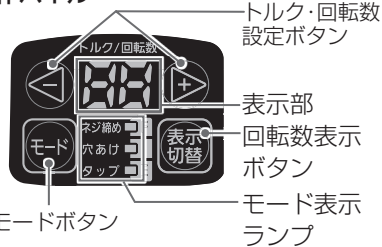
- お買い上げ時の設定:「穴あけ」

2 **表示切替** を押して、ネジ締めのクラッチトルクを調整する

回転数切替ハンドルが高速「HIGH」に設定している場合は、1~20までの20段階、低速「LOW」に設定している場合は1~40までの40段階で調整することができます。

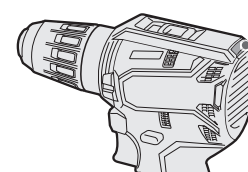
- お買い上げ時の設定:「1」

操作パネル



調整したクラッチトルクで締付できているかを状態表示ランプで確認することができます。

状態表示ランプ



状態表示ランプ	ランプの表示
クラッチ動作時	緑点灯(約2秒)

機械ネジ締めの場合

本体構造上、機械ネジを鉄板等に締め付ける場合、木ネジを締め付けるより締め付けの力が大きくなります。最適な締め付けの力を確保するために、締付スピードを調整することができます。

- 機械ネジや端子ネジ等を締め付ける場合は、クラッチトルク、締付スピードが高いと部材の割れ、変形などのおそれがあります。表示部のトルク設定段階「1」、締付スピード「L1」から設定して使い始めてください。
- ※ただし、「F」では使用しないでください。

■ 設定のしかた

- 1 **表示切替** を押して、表示部を締付スピード設定に切り替える
  - 表示部が点滅します。
- 2 表示部点滅中に **表示切替** を押して、締付スピードを設定する
  - 「L1」(遅い)から「F」(最大スピード)で締付スピードを調整することができます。



- お買い上げ時の設定:「F」

作業前の準備(ネジ締め時にネジ締めモード機能を使う)(つづき)

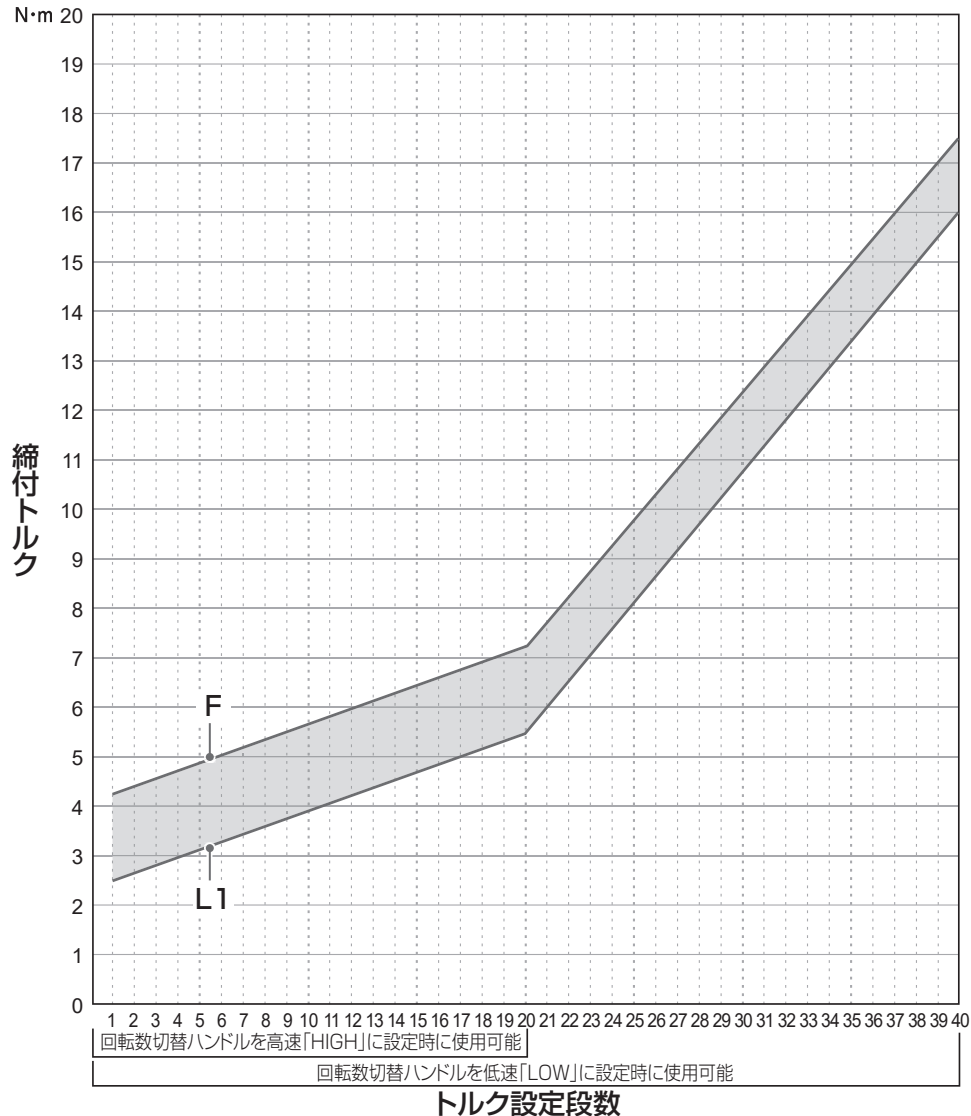
ネジ締め選定目安表

測定条件: 当社規定の測定条件による。

※ 実際の作業では、周囲条件(部材・固定方法等)により、変化します。

実作業での事前確認をおすすめします。

※ 締付スピード「F」(最大スピード)のクラッチトルクは電池パック(18 V/14.4 V)によって変化します。



使いかた

締付トルク

ネジ締めモード回転数目安

■ 18 Vで使用時(電池パック: EZ9L54、EZ9L53など)

回転数切替ハンドル	F	L1	L2	L3	L4
低速「LOW」	約530回転/分	約30回転/分	約60回転/分	約90回転/分	約130回転/分
高速「HIGH」	約1800回転/分	約90回転/分	約200回転/分	約300回転/分	約430回転/分

回転数切替ハンドル	L5	L6	L7	L8	L9
低速「LOW」	約160回転/分	約190回転/分	約220回転/分	約260回転/分	約290回転/分
高速「HIGH」	約540回転/分	約650回転/分	約750回転/分	約860回転/分	約990回転/分

■ 14.4 Vで使用時(電池パック: EZ9L48など)

回転数切替ハンドル	F	L1	L2	L3	L4
低速「LOW」	約430回転/分	約30回転/分	約60回転/分	約90回転/分	約130回転/分
高速「HIGH」	約1450回転/分	約90回転/分	約200回転/分	約300回転/分	約430回転/分

回転数切替ハンドル	L5	L6	L7	L8	L9
低速「LOW」	約160回転/分	約190回転/分	約220回転/分	約260回転/分	約290回転/分
高速「HIGH」	約540回転/分	約650回転/分	約750回転/分	約860回転/分	約990回転/分

ネジ締めモード機能(電子クラッチ)使用上の注意点

- 対象の作業でご使用ください。対象以外の作業をするとクラッチが動作せず部材の割れ、変形などのおそれがあります。
- 着座後に、複数回クラッチを動作させること(増し締め)はお控えください。締付トルクが上がり部材の割れ、変形などのおそれがあります。
- 機械ネジや端子ネジ等を締め付ける場合は、木ねじを締め付けるより締付けの力が大きくなります。  
表示部のトルク設定段数「1」、締付スピード「L1」から設定して使い始めてください。  
※ただし、「F」では使用しないでください。

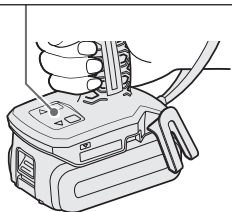
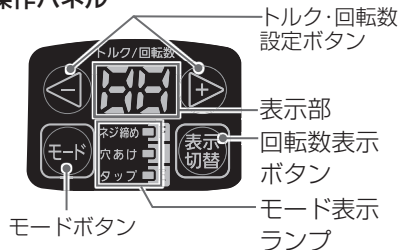
使いかた



作業前の準備(タップ立て作業時にタップモード機能を使う)

- タップモード機能を使う場合は、タップドリルが破損するおそれがあるので表示部のトルク設定段数「1」、スピード「L1」から設定して使い始めてください。
- 先端工具(タップドリル)は、形状や種類、表面の状態によって作業途中に滑る場合があります。安全で正確な作業を行なうために、作業開始前や作業中に確実にキーレスチャックで締め付けられているかを確認しながら作業してください。また、より正確な作業を行なうため、保持力の高い六角軸タイプのものでご使用ください。

操作パネル



使いかた

〈タップさらい作業時の設定のしかた〉

正逆切替スイッチの位置に関係なく、スイッチを押すごとに「正転」「逆転」が切り替わるようになります。 **P26参照**

1 **モード** を押して、タップモードを選択する

押すごとに



の順に切り替わります。  
(モード表示ランプが点灯)

- ・お買い上げ時の設定:「穴あけ」

2 **表示切替** を押して、表示部の数字を「1」にする

- ・お買い上げ時の設定:「1」

タップさらい作業時にスピード設定する場合

- ① **表示切替** を押して、表示部をスピード設定に切り替える  
・表示部が点滅します。
- ② 表示部が点滅中に **表示切替** を押して、スピードを設定する  
・「L1」(遅い)から「F」(最大スピード)でスピードを調整することができます。  
・「A」にするとAUTO切粉切り設定になります。 **P25参照**



- ・お買い上げ時の設定:「F」
- ・「L1」(遅い)から「F」(最大スピード)のスピード(回転数)は、ネジ締めモード時のスピード(回転数)と同じです。

**P23参照**

〈AUTO切粉切り作業時の設定のしかた〉

- 正逆切替スイッチの位置に関係なく、スイッチを押すと「正転」、もう一度スイッチを押すと「逆転で約半回転し停止」することで切粉を切断、タップ立てを補助します。
- スイッチ押すごとに「正転」「逆転で約半回転し停止」を繰り返します。

- タップドリルを穴から抜く場合は、正逆スイッチを「逆転」に設定してから、スイッチを引くことでタップドリルを抜くことが可能です。 **P26参照**

1 **モード** を押して、タップモードを選択する

押すごとに



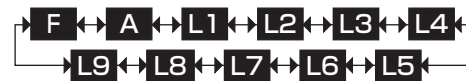
の順に切り替わります。  
(モード表示ランプが点灯)

- ・お買い上げ時の設定:「穴あけ」

2 **表示切替** を押して、表示部の数字を「1」にする

- ・お買い上げ時の設定:「1」

3 **表示切替** を押し、表示部が点滅中に **表示切替** を押して、「A」に切り替える



- ・お買い上げ時の設定:「F」

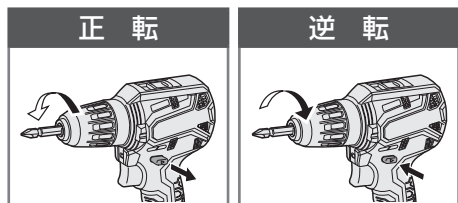
「A」設定時の回転数	
高速「HIGH」	約500回転/分
低速「LOW」	約150回転/分

- 表示部が「A」に設定中は、スイッチをゆっくり引き込んでも回転数はゆっくり上がりません。

使いかた

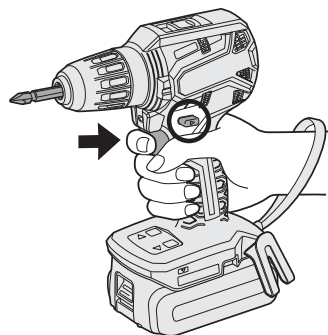
## 作業する

### 1 正逆切替スイッチで正転／逆転を決める



正逆切替スイッチの操作は

- モータが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。



### 2 スイッチを入れる

- スイッチを引き込むにしたがって回転数上がる。(センター決めときは、ゆっくりスタートする)
- スイッチをはなす(スイッチ切)とブレーキが作動。

- スイッチ引き込み操作時に回転の立ち上がりが一瞬遅れる場合がありますが故障ではありません。
- 低速回転で使用した場合、モータが高温になり、保護が特に働きやすくなります。温度が下がってから使用してください。
- スイッチを連続10分間引き続け回転させた場合、電源自動停止機能が働き、本体が自動的に停止し、電源OFF状態になります。
- ロックした場合、間欠動作することがありますが、異常ではありません。
- 無負荷で回転すると「ガチャ」と音がすることがありますが、手締め機構によるもので異常ではありません。
- リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0℃～40℃です。寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

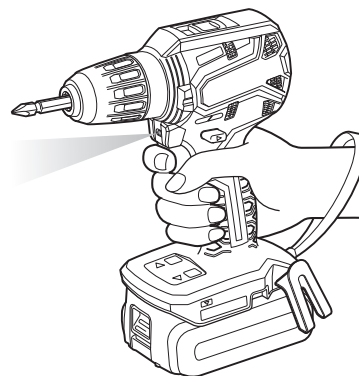
- 電池パックEZ9L42は10℃以下になると作業条件等により性能がいちじるしく低下します。

## LEDライトの使いかた

奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

### 警告

- 懐中電灯としては使用しない。
- 十分な明るさを確保していないのでこのLEDライトを使って暗い場所を移動しない。事故のおそれがあります。
- LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てない。LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。



スイッチを引き込むとLEDライトが点灯  
スイッチをはなす(スイッチ切)と消灯します。

- LEDライトは微小電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。

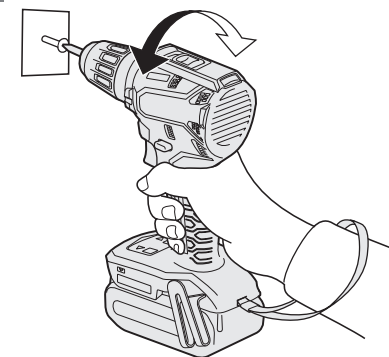
## 手廻しドライバーとして使うとき

手締め機能があります。

### 1 スイッチを切って、正逆切替スイッチを中央にする



### 2 本体を手でまわす



- 締付確認時や締付のかたいネジをゆるめるときに便利です。
- ボックスドライバー(M6ボルト以上)で無理に締め付けられたネジや、サビついたネジを無理に取りはずしたりしないでください。(手締めトルク最大約22.6 N・m(約230 kgf-cm)まで)

# 補助ハンドルの取り付けかた

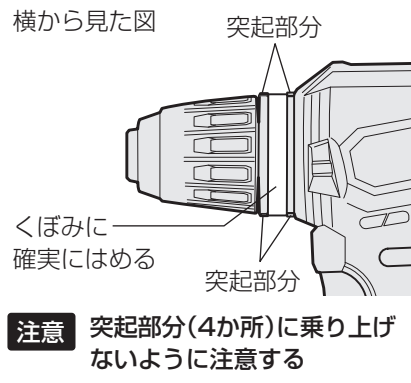
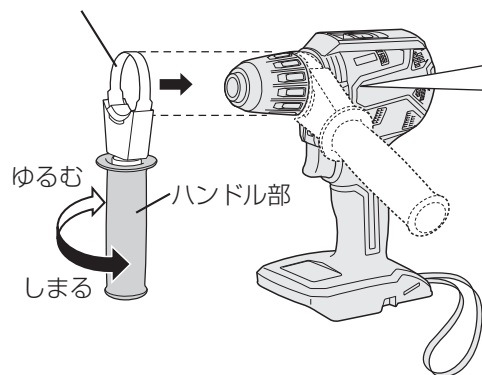
※補助ハンドルは、別売になります。作業に必要な場合にご購入ください。

## 補助ハンドルを取り付ける

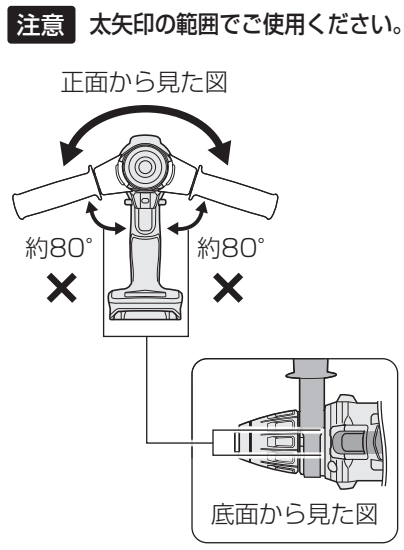
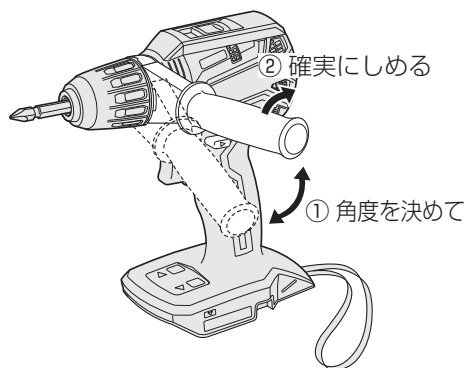
本体と補助ハンドルの取付部のゴミや油を乾いた布できれいに拭き取ってから取り付けてください。

### 1 補助ハンドルのハンドル部をゆるめて輪の部分を広げ、本体のくぼみにはめる

ハンドル部をゆるめると輪の部分が広がる



### 2 作業しやすい角度にあわせてハンドル部をしっかり締め付ける



● ケース収納時は、補助ハンドルを取りはずして収納してください。

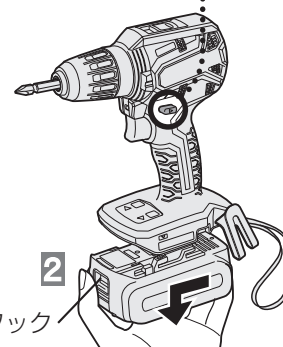
# 作業終了

## 作業が終了したら



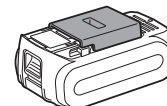
● 作業直後はビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。高温になっており、やけどをするおそれがあります。

### 1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

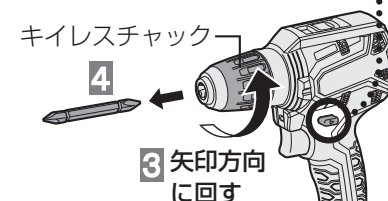


### 2 フックを引きながら電池パックを本体前方にスライドさせて、電池パックをはずす

● 電池パックを本体から取りはずしたときに操作パネルのランプが一瞬点灯する場合がありますが、故障ではありません。  
● 電池パックを本体から取りはずしたら電池端子部分への塵・埃の付着防止のため、すみやかにパックカバーを取り付けてください。



### 3 キイレスチャックを矢印方向に回してゆるめる



### 4 先端工具を取りはずす

● 作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にしてください。  
● ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずしてください。守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

使いかた

使いかた

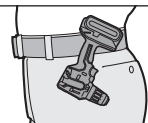
## 引掛フックを使う



### 警告

- 引掛フックは本体に止めネジでしっかり固定する。
- 引掛フック使用中は、体を激しく動かさない。  
本体落下による事故のおそれがあります。

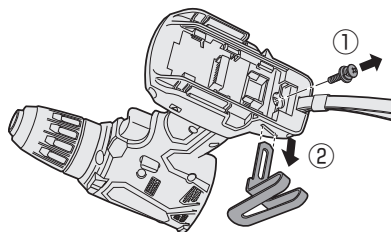
## 引掛フックの左右の付け替え



引掛フックは、左右どちらでも取り付け可能。

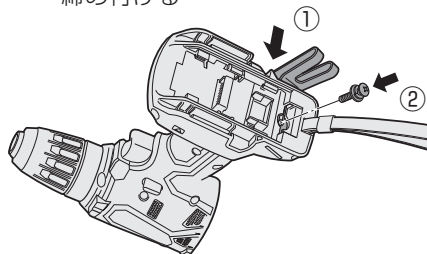
## 1 引掛フックを取りはずす

- ① 止めネジをはずす
- ② 引掛フックを引き抜く



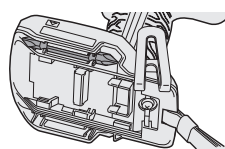
## 2 反対側に取り付ける

- ① 引掛フックを反対側に差し込む
- ② 止めネジを最後までしっかりと締め付ける



- 引掛フックが抜けたりゆるみがないか確認してください。

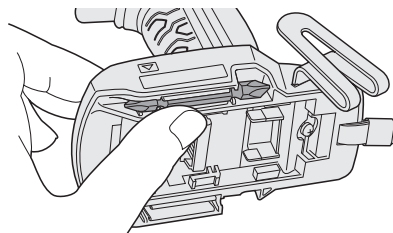
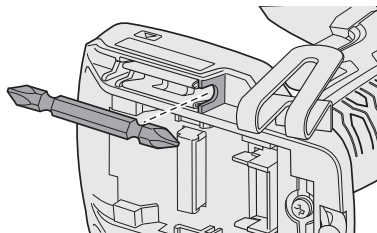
## 予備ビット収納部の使いかた



長さ45~65 mmの段付ビットを収納可能。

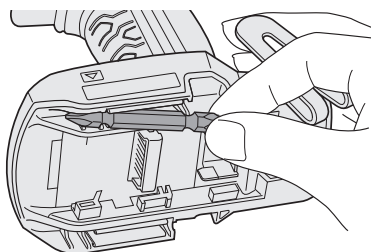
## 1 予備ビットを収納する

- ① 電池パックをはずす
- ② 予備ビット収納部に下図のように一番奥まで押し込む



## 2 予備ビットを取り出す

- ① 電池パックをはずす
- ② 予備ビットの本体後部側のビット先端を引き出してビットを取り出す



## お手入れ

### チャック内部のゴミを取り除く

チャックの動作がたくなるのを防ぐため。



### やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。  
(変色・変形・割れの原因)

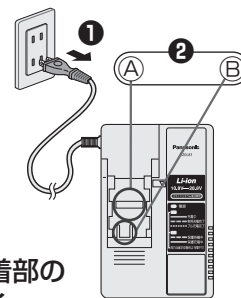


### 定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などが定期的な点検してください。
- 充電器のコードが破損していないか定期的な点検してください。

### 充電器の電池パック装着部のゴミを取り除く

- ① 電源プラグをコンセントから抜く



- ② 電池パック装着部のゴミを取り除く

- カバーを押さえて端子AとBを露出させ、ゴミを取り除く。  
A: ブラシなどで端子に無理な力がかからないように取り除く。  
B: 布などで取り除く。

## 保管

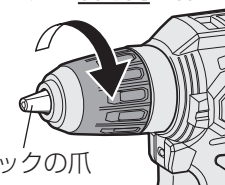
### 以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



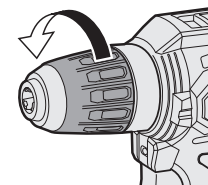
### 本体からキイレスチャックの取付部がゆるんだとき

- ① 本体を固定し、キイレスチャックを正面から見て右方向に締め付ける

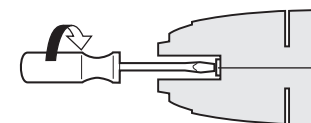


チャックの爪

- ② キイレスチャックを正面から見て左方向に回し、チャックの爪を開く



- ③ キイレスチャック内部の固定ネジ(左ネジ)をマイナスドライバーで正面から見て左方向に強く締め付ける



固定ネジ

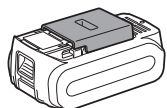


## ⚠ 危険

- 当社充電工具および当社が認めた充電工具以外に使用しない。
- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。  
改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。  
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。  
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

## 長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、**充電せずに保管**してください。
- 使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためパックカバーを取り付けてください。



- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。

## 電池パックの寿命

### 寿命の目安／処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

### ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

## リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないで買い求めの販売店へお持ちください。(電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください)  
※EZ1DD1Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。

## 本製品の使用電池

- 名称: 密閉型リチウムイオン蓄電池
- 公称電圧: 3.6 V
- 数量: EZ9L54 10本  
EZ9L53 5本  
EZ9L48 8本

## 電池パックを使用しないときは

保管の前に	充電せずに保管
再使用前に	フル充電

## 作業範囲

作業	相手部材	先端	作業範囲	回転数切替 ハンドル
穴あけ	木材 米松	木工ドリルビット	~φ21 板厚120 mm	高速
			~φ35 板厚120 mm	低速
			~φ38 板厚120 mm※	低速
			~φ27 板厚40 mm	高速
	鉄 冷間圧延鋼板 (SPC)	金工ドリルビット	~φ10 板厚1.6 mm	高速
			~φ13 板厚2.3 mm	低速
窯業系サイディング材 (16 mm)+ 合板(12 mm) ※	金工ホールソー	~φ21 板厚1.6 mm	高速	
		~φ33 板厚2.3 mm	低速	
ネジ締め	木材 米松	木工用ネジ	φ6	高速
			φ6~φ8.0	低速
	鉄 冷間圧延鋼板 (SPC)	テクスネジ	φ6 板厚1.6~2.3 mm	高速
			鋼材	機械ネジ
タップ立て	鋼材	六角軸スパイラル タップドリル	M4~M8	高速
	アルミ		M4~M10	高速

※ EZ9L54、EZ9L53装着時のみ

- 高速「HIGH」作業を連続に行なうと本体が熱くなることがあります。
- 低速「LOW」作業を高速「HIGH」で行なうと本体の故障の原因になります。
- EZ9L54、EZ9L53、EZ9L48使用時／周囲温度20℃  
数値は目安です。電池パック性能の変化、相手材の硬さなどにより変わります。

作業量

< 1回のフル充電による使用能力 >

● EZ9L54、EZ9L53、EZ9L48使用時 / 周囲温度20℃

数値は目安です。電池パック性能の変化、相手材の硬さなどにより変わります。

作業	相手部材		作業サイズ	作業量			回転数 切替 ハンドル	
				EZ9L54	EZ9L53	EZ9L48		
穴あけ	木材	米松	厚み 120 mm	φ15	約280穴	約170穴	約200穴	高速
				φ21	約180穴	約110穴	約100穴	高速
				φ30 ※	約90穴	約55穴	—	低速
		厚み 40 mm ※	φ27	約260穴	約160穴	—	高速	
			φ35	約160穴	約95穴	—	低速	
			—	—	—	—	—	
	鉄	冷間圧延鋼板 (SPC)	板厚 1.6 mm	φ21(ホールソー)	約45穴	約30穴	約35穴	高速
				φ33(ホールソー)	約55穴	約35穴	約50穴	低速
	—	窯業系サイディング材 (16 mm)+ 合板(12 mm) ※	厚み 28 mm	φ65(コアドリル)	約45穴	約30穴	—	高速
				φ80(コアドリル)	約25穴	約15穴	—	低速
	—	石膏ボード(12.5 mm) +合板(12 mm) ※	厚み 24.5 mm	φ68(ウッドコア)	約120穴	約75穴	—	高速
				φ125(ウッドコア)	約35穴	約20穴	—	低速
φ50(ホールソー)				約70穴	約40穴	—	高速	
ネジ締め	木材 ※	米松	φ6×80 mm (コーチネジ)	約210本 (29段、[F])	約130本 (29段、[F])	—	低速	
			φ8×80 mm (コーチネジ)	約120本 (40段、[F])	約75本 (40段、[F])	—	低速	
	機械	鋼材	M5×10 mm (六角ボルト)	約17400本 (8段、[L3])	約10450本 (8段、[L3])	約20600本 (8段、[L3])	高速	
			M6×10 mm (六角ボルト)	約11400本 (8段、[L3])	約6850本 (8段、[L3])	約11200本 (8段、[L3])	高速	
			M8×10 mm (六角ボルト)	約8800本 (20段、[L4])	約5300本 (20段、[L4])	約10800本 (20段、[L4])	低速	
	鉄	冷間圧延鋼板 (SPC)	板厚 1.6 mm	φ6×13 mm	約930本 (10段、[F])	約560本 (10段、[F])	約830本 (10段、[F])	高速

※ EZ9L54、EZ9L53装着時のみ

本体

モータ電圧	DC14.4 V	DC18 V
弾性体 締付トルク*	高速:約10 N・m(約102 kgf・cm) 低速:約29 N・m(約296 kgf・cm)	高速:約11 N・m(約112 kgf・cm) 低速:約30 N・m(約306 kgf・cm)
回転数	高速:約70~1450回転/分 低速:約20~430回転/分	高速:約70~1800回転/分 低速:約20~530回転/分
クラッチトルク	高速:約3~7 N・m (約31~71 kgf・cm) 低速:約3~17 N・m (約31~173 kgf・cm)	高速:約3~8 N・m (約31~82 kgf・cm) 低速:約3~18 N・m (約31~184 kgf・cm)
質量 (重量)	EZ9L48装着時:約1.76 kg	EZ9L54装着時:約1.88 kg EZ9L53装着時:約1.65 kg
大きさ (概略寸法)	EZ9L48装着時: 全長160×全高245×全幅66(mm)	EZ9L54装着時: 全長160×全高253×全幅66(mm) EZ9L53装着時: 全長160×全高237×全幅66(mm)
キイレスタック	電池パック最大幅75(mm)	
キイレスタック	把握径φ1.5~φ13 mm	

※ 弾性体締付トルクとは、ネジ締め、穴あけなどの能力を示すトルクをより実作業に近い条件で計測するために、工具とトルク測定器の間にバネを入れて測定した締付トルクです。

● 電池パックEZ9L42使用時の本体出力は高容量EZ9L48使用時より若干低くなる場合があります。

充電器(EZOL81)

電源	AC100 V 50/60 Hz	消費電力	約198 W	質量(重量)	約900 g
----	------------------	------	--------	--------	--------

充電可能な電池パック	電池パックの種類		リチウムイオン電池					
	電池電圧	28.8 V	EZ9L84	EZ9L82	EZ9L81			
充電時間	実用	約45分	約30分	約27分				
	フル	約65分	約45分	約50分				
電池電圧	21.6 V	EZ9L62			EZ9L61			
	充電時間	実用	約42分			約22分		
充電時間	フル	約55分			約41分			
	電池電圧	18 V	EZ9L54	EZ9L53	EZ9L51	EZ9L50		
充電時間	実用	約40分	約40分	約48分	約37分			
	フル	約60分	約55分	約60分	約50分			
電池電圧	14.4 V	EZ9L48	EZ9L47	EZ9L46	EZ9L45	EZ9L44	EZ9L42	EZ9L41
	充電時間	実用	約40分	約30分	約25分	約38分	約28分	約25分
フル	約60分	約35分	約41分	約54分	約45分	約30分	約38分	

- 充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
- 表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。
- 表中のEZ9L81・EZ9L61・EZ9L41は、充電器EZOL80でも充電できます。

# エラー表示について

本体、電池パックに異常がある場合、本体パネルにエラー表示が点灯します。修理を依頼される前に下記の点検をお願いいたします。

表示	考えられる原因	処置
E2	電池パックが高温になっている。	作業を中断し、電池パックの温度が下がってから使用する。
E3	本体が高温のため、動かない。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
E4	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	電池パックと本体の取り付けが不十分。	電池パックを本体に確実に取り付ける。
E5	本体または電池パックの端子が磨耗している。(寿命)	電池パックを交換する。
	過負荷となっている。	負荷を取り除く。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止  
● 本体、充電器、電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

# 故障かな?と思ったとき

下記の点検と処置をお願いします。  
処置後なお異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。  
保証書と、本体・充電器・電池パックをお買い上げの販売店へご持参ください。  
(詳しくは P41参照)

	症状	考えられる原因	処置
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電する。テレビ・ラジオから離して充電する。
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	充電中に保護待機中の状態になる。*(オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックの温度が60℃以上になっている。	周囲温度が0℃~40℃の場所で充電する。0℃~40℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。電池パックの温度が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
		電池パックの温度が-10℃以下になっている。*	
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(表示部のエラー表示が点灯/電池残量表示ランプが点滅)	本体または電池パックが高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、本体または電池パックの温度が下がってから使用する。
		電池パックの温度が-10℃以下になっている。	電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
		電池パックを充電していない。	充電する。 P14参照
		電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。

\* 電池パックの温度が-10℃~0℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は P15参照

点検方法

点検方法

症 状	考えられる原因	処 置
動かない。または動いてもすぐ止まる。 (表示部のエラー表示が点灯/電池残量表示ランプが点滅)	急激な負荷の上昇により過放電防止機能がはたしている。	故障ではありません。スイッチを入れなおすと消えます。本製品を押し付ける力を弱くするか、回転数切替ハンドルで低速側に切り替えるなどしてください。
十分な電池残量があるのに電池残量表示ランプが点滅する。		
作業時 操作パネルのボタンを押しても操作できない。	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	電池パック取付直後や、5分以上何も操作していない。	スイッチを引く。
	電池パック装着後、1回も作業していない。	
	電池パックを充電していない。	充電する。 <b>P14参照</b>
	電池パックが故障している。	新しい電池パックを購入する。 <b>P13参照</b>
電池パックを本体から取りはずしたときに操作パネルのランプが一瞬点灯する。	本体に蓄えた電荷の放電によるものです。	故障ではありません。
フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	温度が低い場所(0℃以下)で保管した電池パックを使用した。	再度充電し、充電完了後に使用する。
	回転数が設定されている。	回転数設定を再調整する。 <b>P20参照</b>
操作パネルの表示が正しくない。	高圧線の近くなど、電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。

症 状	考えられる原因	処 置
スイッチを切ると、停止音がする。	ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
動かない。または動いてもすぐ止まる。 (表示部のエラー表示が点灯)	モータに高い負荷がかかっているため、モータ過電流防止機能が働いている。	故障ではありません。スイッチを入れなおすと消えます。本製品を押し付ける力を弱くするか、回転数切替ハンドルで低速側に切り替えるなどしてください。
作業時 フル充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。	ビット・ドリルなどのネジの頭がはずれやすい。先端工具に消耗など不具合がある。	新しい先端工具と交換する。 ( <b>P13参照</b> またはカタログをご覧ください)
	電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入する。 <b>P13参照</b>
	冷えた電池パック(0℃以下)を暖かい場所で充電した。	電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がってから再度充電する。
	電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入する。 <b>P13参照</b>
ネジが締めきらない。	電池パックの残量が少なくなった。	
	電池パックを2か月以上放置していた/または購入したばかりである。	充電する。 <b>P14・35参照</b>
症 状	処 置	
● 電源プラグをコンセントに差し込んでも電源ランプが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に充電状態ランプが点灯・点滅しない。 ● 「保護待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ● 「充電中」(グリーン:点灯)後、2時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。	ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご持参ください。	



「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実  
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



### 商品登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の6桁の数字を入力してください。

432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。  
※他の製品をご登録の場合、WEB サイトをご参照ください。

使いかた・お手入れ・修理 などは  
■まず、お買い上げの販売店へ  
ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名  
電話 (       )       —  
お買い上げ日       年       月       日

### 修理を依頼されるときは

37～39ページの表でご確認のあと、  
直らないときは、まず、電池パックを  
はずして、お買い上げ日と右の内容を  
ご連絡ください。

●製品名 充電ドリルドライバー  
●品番 EZ1DD1  
(J18D・N18D・J14D・X)  
●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体・充電器6か月間(ただし、電池パック・ケースは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)  
工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

\* 修理料金は、次の内容で構成されています。

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用

**部品代** 部品および補助材料代

**出張料** 技術者を派遣する費用

\* 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電ドリルドライバーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

愛情点検	長年ご使用の充電ドリルドライバーの点検を	
	<b>こんな症状はありませんか？</b> ・本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。 ・充電器のコードが損傷している。 ・動作中に異常な音がる。	<b>ご使用中止</b> 故障や事故の防止のため、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。



**パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部**

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2022

EZ90101DD103 Y0521-2012